

やまが

平成29年2月1日 発行／山鹿市議会

市議会だより

第12号



成人式(山鹿市総合体育館)

もくじ ▶

山鹿市議会報告会	P2
山鹿市議会基本条例の検証	P3
常任委員会審査と報告	P4～6
市政のここが聞きたい（一般質問）	P7～P10
審議した議案と結果一覧・主な議案	P11
議会の主な動き・議会運営委員会行政視察報告	P12

議会報告会を開催しました!

9月28日（水）に議会報告会を鹿本市民センターひだまりで開催しました。

今年度は5月に5カ所で開催予定でしたが、熊本地震の影響で1カ所のみで開催となりました。

46名の方にご参加いただき、報告内容に関連する意見・要望のほか、普段の生活からの市政や議会に対する様々な意見・要望をいただきました。ありがとうございました。

【会場での意見】

会場で出された意見は市行政への要望が多数あり、各常任委員会で検討し行政へ要望することにしています。

- ・防災無線の音声が聞き取りにくい。
- ・鹿央統合小学校における避難訓練、避難マニュアルは作成されているか。
- ・避難行動要支援者に対して具体的な訓練が必要なのではないか。
- ・カルチャースポーツセンターや観光地への公共交通手段を検討してほしい。
- ・その他

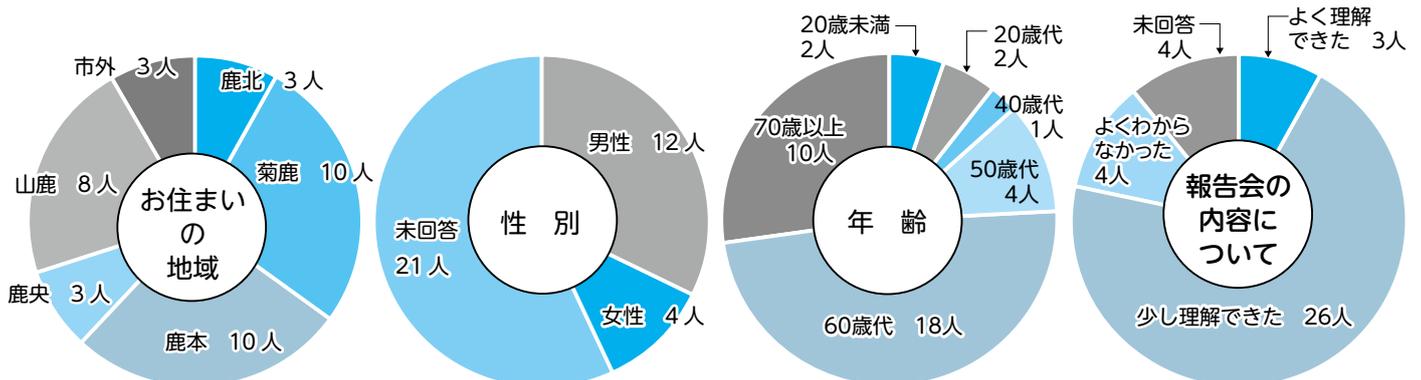


議会報告会（鹿本市民センター ひだまり）

【アンケート結果】

アンケートにも様々な意見が寄せられました。

- ・参加者個人の要望合戦になっており、合理的・発展的な会になってない。
- ・未来に向けた建設的な意見が出る報告会でなければ無駄な時間になっていると思う。
- ・報告会をやるならもう少しやり方を考えた方が良い。
- ・各委員会の活動内容が一部だが理解できた。質問なのか意見なのか長時間話すのはこの場にふさわしくない。今後の大きな課題。
- ・その他



議会基本条例の検証について

議会運営委員会で、議会基本条例について、改選を前に検証を行いました。
平成28年3月に条例を制定後、間もないこともあり、条例の目的に向け、今後さらにその取り組みの充実と実践に向け努めていくと検証しました。

議会基本条例の検証（主なもの）

※ 条例の主な内容（上段）と検証意見（下段）

第5条	(市民参加及び市民との連携) 議会の活動に関する情報を積極的に公表し、市民との意見交換の場を多様に設け、議会報告会を年1回以上開催する ●議会報告会は、今後やり方を見直すか廃止を含め検討する
第7条	(市長による政策等の形成過程の説明) 立案及び執行における論点及び争点を明らかにし、執行後における政策評価に資する審議に努める
第8条	(予算及び決算における政策説明資料の作成) 施策別又は事業別の分かりやすい政策説明資料の作成に努める ●より充実した資料を執行部に求める
第10条	(議員間討議の拡大) 議員相互間の討議を積極的に行い、議論を尽くし合意形成に努める ●本議会及び委員会において、議員間の討議及び議論を行い、さらに努力していく
第13条	(議員研修の強化) 議員研修の充実強化及び調査研究に努める ●研修の充実に努める
第14条	(政務活動費) 市政に関する調査研究その他の活動に努める ●議会政務活動費使途基準に係る申し合わせ事項を作成した
第17条	(議会広報の充実) 議会だよりで定期的に市民に公表する等、情報の提供に努める 市民が議会と市政への関心を高めるための議会広報活動に努める ●議会広報は、より多くの議員のことを掲載する ●インターネット等を活用し、より多くの方へお知らせする
第23条	(見直し手続) この条例の目的が達成されているかどうかを検証する ●基本条例の検証は、改選後にも行う

議会基本条例 6つのポイント

- 1 市民参加の機会を充実します** (第2条、第5条)
・多様な意見を把握するための場を設けます！
- 2 適正な市政運営が行われているかチェックします** (第2条)
・執行機関が行う行政運営を評価し、監視します！
- 3 議会への関心が高まるような議会活動に努めます** (第2条)
・わかりやすい視点、方法等を示していきます！
- 4 議会報告会を開催します** (第5条)
・審議結果等の市民への報告と意見交換を行います！
- 5 市民への情報公開に努めます** (第5条)
・本会議、常任委員会の原則公開と議会活動の情報公開も！
- 6 議員間討議を充実し政策提言につなげます** (第10条)
・活発な討議で市政の課題を明確化し政策提言へ！

学校運営費（競技出場）2017

◆付託案件 議案10件：可決
◆現地調査

- ① 岳間研修センター
- ② 椎持研修センター
- ③ まほろば保育園（四丁）

◆主な審査内容

教育委員会関係

議案第95号 平成28年度山鹿市一般会計補正予算（第5号）
学校運営費 競技出場について

問 遠征の参加人員はどのようなになっているか。



全日本合唱コンクール九州大会（佐世保市）
山鹿中学校合唱部

答

全日本合唱コンクール全国大会については、生徒30名、引率3名が参加している。
九州マーチングコンテストには、生徒31名、引率3名が参加している。
Jrオリンピック陸上競技大会については、選手2名。
全日本中学校バレーボール選手権大会については、生徒13名、引率2名が参加している。

議案第110号 公の施設の指定管理者の指定について（岳間研修センター）

問

指定管理者にする目的は何か。

答

施設を有効に活用するためには、自由度がより高い指定管理制度を選ぶということで提案している。

問

指定管理者にすれば市はいくらプラスになるか。

答

施設の性格によるが、指定管理者がノウハウを生かして利用者が増えることで、財政的なメリットが生じる。

議案第113号 公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市農村集落多目的共同利用施設下分田センター）

問

4地区共同の使用が前提となっているが、現在地元の下分田区が指定管理者になっているので、優先的に使っている。他の3地区にも下分田区が指定管理になっていることの周知をぜひお願いしたい。

答

周知に関しては行う。

現地調査

① 岳間研修センター

昭和56年建設（年間利用者数・2300人）施設の概要及び利用内容、施設の管理の状況について、また、地域の交流の場として重要な役割を果たしていると社会教育課長より説明があった。

② 椎持研修センター

平成15年建設（年間利用者数・2058人）利用状況は、集会、会議、各サークルなどに利用。
いきいきサロン（月1回）・防災講習（年2回）・清掃（月1回）、大掃除・年2回）また、自主避難場所

③ まほろば保育園

としても利用されており、地域の中で十分に活用され、地域の交流の場としての重要な役割を果たしている。指定管理者である区長より説明を受けた後、館内を視察した。

統合により廃止園となる鹿北3保育園の財産の譲渡先として、平成29年4月開園予定である社会福祉法人平成会「まほろば保育園」の施設を視察した。

担当課長及び施設の経営主体である社会福祉法人平成会から施設の概要や工事の進捗状況、保育の形態、学童保育所の併設などの説明を受けた。



椎持研修センター（鹿北町椎持）

山鹿市エネルギー回収型廃棄物処理施設(ごみ焼却施設)の建設業者が決定!

◆付託案件 議案6件…可決

◆現地調査

- ① 廃棄物処理施設造成工事現場(石)
- ② 就労継続支援A型事業所ライフワークサポート山鹿作業所(石)
- ③ 放課後等デイサービス事業所おひさま(方保田)

◆主な審査内容

議案第95号 平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第5号) 中所管

問

障がいのある子どもたちのための放課後等デイサービスや児童発達支援の利用者増加に伴う約2100万円の補正予算だが今後、利用の推移はどうなっていくと考えられるか。

答

平成28年度の利用者は平成27年度と比較して1.5倍の増加であり、今後も増加の傾向にある。

議案第96号 平成28年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

問

国民健康保険税の滞納額(累計)はどのくらいか。



廃棄物処理施設造成工事現場(石)

問

平成26年度末では3億2100万円。平成27年度末では2億9700万円。夜間の徴収窓口を設けたり、訪問回収により滞納額は減ってきている。

議案第101号 平成28年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)

問

熊本市民病院から震災後の対応として看護師の受け入れをしているが人数と期間は。

答

平成28年9月から13名を受け入れている。期間は熊本市民病

院の改築が終了するまでの約3年間の予定である。

議案第103号 工事請負契約の締結について(廃棄物処理施設建設工事)

問

入札の状況はどうだったか。

答

応募があった5社による「総合評価一般競争入札」とした。特殊工事ということで技術点と価格を総合的に判断して決定した。

問

廃棄物処理施設に分別ごみのストックヤードを設置してほしいと要望していたが計画はあるか。

答

計画どおり整備する予定である。

現地調査

① 廃棄物処理施設造成工事現場

市民スポーツセンター跡地に造成中の現場を視察した。ごみ焼却施設は平成31年4月に稼働を予定している。施設の処理対象物は燃やすごみ、可燃性粗大ごみ等。処理能力は一日46t(23t×2炉)で16時間運転を行う計画である。

② 就労継続支援A型事業所ライフワークサポート山鹿作業所

企業等に就労することが困難な障がいのある方に対して雇用契約に基づき、就労の機会を提供するとともに、一般企業で就労するための知識及び能力の向上を図るための事業所である。主に部品組立作業や農作業を行う。

③ 放課後等デイサービス事業所おひさま

障がいのある子どもたちに対し、放課後や長期休暇中においての生活機能向上のための訓練、集団生活への適応訓練等の療育の場であり放課後の居場所づくりにもなっている。現在、山鹿市内に放課後等デイサービス事業所は5カ所ある。



放課後等デイサービス事業所おひさま(方保田)

指定管理者の指定について審査!!

◆付託案件

議案10件…可決
請願1件…継続審査

◆現地調査

- ①カルチャースポーツセンター造成工事現場
- ②天空桑園現場(小坂)
- ③株きむらのあられ山鹿ファーム 吉ノ蔵(平山)

◆主な審査内容

議案第95号 平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第5号) 中所管

問

畜産振興事業の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の補助額は2分の1だが、市の持ち出しはあるのか。

答

県が2分の1、事業者2分の1であり、市の持ち出しはない。

問

くまもと茶ビジネス確立支援事業で菊鹿小学校への給茶機の配付を行うが、鹿北・菊鹿以外にはないのか。

答

鹿北・菊鹿以外には今のところ考えはない。



道の駅(水辺プラザかもと)

問

農業担い手支援総合対策事業の補助申請の期間が短いとの話を聞くがどうなのか。

答

補正予算のため、申請期間は短くなるのはやむを得ない。

問

前回より指定管理料が増えている理由は。

議案第106号 公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市鹿央生産物直売所、山鹿市鹿央古代の森交流施設)

答

今回から、肥後古代の森鹿央地区の管理を指定管理者業務とし、公園を一体的に管理することとしたため。

問

議案第108号 公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市水辺プラザかもと)

問

これまで指定管理者から市へ納付金が収められていたが、来年度から指定管理料を支払うことになった理由は。

答

市が定めた指定管理料の積算基準により過去の実績等を含めて算定した結果、施設の維持管理経費が施設利用料や商品販売等の収入を上回るため。

問

請願第5号 花見坂(栄太郎横)もくせい学園入り口間の電線地中化工事を求める請願書

答

社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)の2分の1の補助が現在1番有利な補助事業である。

継続し審査する必要があるという意見があり継続審査となる。

現地調査

①カルチャースポーツセンター造成工事現場

カルチャースポーツセンターの多目的グラウンド、テニス場、駐車場等の造成状況の視察を行った。

②天空桑園現場

西岳につくられている桑畑の現状を視察した。まだまだ桑の木の発育が進んでいない状況であった。雑草取りに苦労しているとのことであった。

③株きむらのあられ山鹿ファーム吉ノ蔵

店内・外観等の視察を行った。



天空桑園(小坂)

市政のここが聞きたい!

インターネット録画配信をご覧ください。

山鹿市
ホームページ → 市議会
一覧 → 定例会の
様子

の順にクリックしてください。



池田誠一 議員

質問 小中学校規模適正化事業について

小中学校規模適正化計画の中で、現在の進捗状況と統合済み校の問題点について、また、八幡小・三岳小・平小城小の統合計画に関して、よりコンセンサスの必要性と問題箇所の解消を問う。^{*}

答弁:(教育部長)

山鹿小と鹿北小が平成25年4月に、菊鹿小が平成28年4月に開校済み。めのだけ小は平成29年4月に開校予定。鹿本小は平成32年4月の開校を目指して準備を進めており、平小城小・三岳小・八幡小の統合と、鶴城中・山鹿中の統合は、平成31年4月の開校目標に向け説明会を行っている。また統合済みの3小学校からは、問題事案の報告はあっていない。

八幡小の土砂災害特別警戒区域は、倉塚公園との隣接地等が区域指定を受けているが、統合のいかににかかわらず早期に安全対策を講じていきたい。また施設の整備方針は、統合校の位置決定の後、既存施設の有効活用を前提とし建物調査を行い、効率的な配置計画等を検討していく。

^{*}コンセンサス=複数の人による合意

質問 小中学校の方言教育について

近年子ども達が熊本弁(方言)を使う機会が少ないように思える。子ども達が郷土に誇りを持つことができる教育のやり方や取り組みができないかを問う。

答弁:(教育部首席教育審議員)

共通語の獲得は、全ての学習の基本であり重要な指導事項である。一方、方言の学習については、教育課程には位置付けはないが、総合的な学習の時間等で慣れ親しむ場や活動を取り入れることは可能である。郷土に誇りを持てるよう、地域人材を活用し方言に関する学習も大切にする。



質問 灯籠まつりについて

踊り手や担ぎ手の不足をどのように解決するのか。高校生の参加または各種企業・団体への働きかけ等、市民全体での取り組みが必要ではないか。

答弁:(経済部長)

灯籠まつりを継承・発展させていくという視点から、市民との合意形成に努めながら、祭りの意義や素晴らしさを再認識することで、誇れる祭りとして、確実に次代に引き継ぐためにも、一人一役として参画できる祭りを目指し、オール山鹿の体制で取り組む必要がある。

質問 放課後児童クラブ(学童保育)の運営等について

- ①一人あたりの面積要件など条例に沿った運営ができているか。平成26年にも問うたが改善されたか。
- ②利用料金や支援員の処遇に差がないのか。
- ③長期休みのみ利用する児童も学校行事等で振替休日の場合は受け入れできないか。
- ④学童保育が学校と離れている場合(例えば山鹿小から川辺のクラブへ)スクールバスを利用できないか。
- ⑤今後も統合再編していく中で学校敷地内あるいは近接地に新設を含めた施設整備をする考えはないのか。子育て支援だけではなく移住定住としての施策と考えていただきたい。

答弁:(教育部長・教育長)

- ①面積要件は平均では基準より上回っているが、依然確保できていないクラブもある。
- ②平成30年度までに山鹿市の全クラブが統一する予定である。
- ③各クラブに協議と要請を行い、対応を図りたい。
- ④乗車に余裕がある分には、スクールバスを利用できるよう運営委員会と協議を行い支援に努める。
- ⑤今後も学校の余裕教室や公共の施設、保育園等の児童福祉施設などを利用した環境確保を進める。



服部香代 議員

質問 選挙開票事務について

- ①開票作業の時間短縮ができれば迅速に結果発表でき、開票事務従事者の負担軽減にもなる。今後の開票作業について時間短縮を含めどのように考えるか。
- ②開票事務の改革には様々な工夫が必要だが、全体に指揮する人がいるか、人員削減は考えているか、目標時間設定ができるかを問う。

答弁:(選挙管理委員会事務局長)

- ①時間短縮できれば人件費の削減、職員の負担軽減にもなるので、手順を再確認し個別の改善を図る。
- ②総チーフを配置し進行に合わせた確に指示を出す。人員は選挙の度に見直しを行い適正な人員配置をしている。前回も目標時間を設定している。今回はより早い時間を設定し、正確性を第一としつつ迅速性の向上に努める。



質問 有害鳥獣対策について

猟友会の巡回活動の拡大の状況及び地域での取り組みへの支援内容はどのようなものがあるか。

答弁:(経済部長)

巡回活動については、本年10月から駆除エリアを全市に拡大したことで、イノシシの出現の減少など一定の効果が上がっている。今後も可能な限り巡回をお願いをしていく。

支援内容については、国の事業で被害防止対策へ活用できる支援がある。市でも狩猟免許取得や箱わな購入に対しての補助を行っている。今後も関係機関が連携して推進を図っていく。



稲葉 昇 議員

質問 さくら湯周辺の環境整備について

さくら湯周辺に桜の木を植える考えはないか。

答弁:(市長)

さくら湯は、豊前街道の街並みと調和し、往時(おうじ)のさくら湯周辺の雰囲気をしるばせることをコンセプトに周辺整備を行っていることから、今後、周辺との一体性や雰囲気、季節感、維持管理などを総合的に判断する。

質問 新養蚕産業及び菊鹿ワイナリー構想について

両構想に対する将来展望について市長の考えを問う。

答弁:(市長)

両構想により、「農業政策と観光政策の連携」、「経済政策と移住・定住政策の連携」を十分に図りながら、山鹿の知名度向上、雇用の創出、交流人口の拡大、さらには移住・定住の促進へとつなげていく。

「3つの戦略創造プロジェクト」を通じて地方創生を実現し、熊本に活力を生み出すべく、オール山鹿体制で、そして山鹿が熊本全体をリードするという気概で、引き続き、全力で取り組んでいく。



さくら湯

質問 やまがメイトの登録状況等について

現在の登録数はどれくらいか。また、今後目標とする値はどれくらいを考えているか。

答弁: (総務部長)

11月28日現在、総数で2441件となっている。市外居住としての登録が170件、市内居住としての登録が2271件で、内訳は山鹿地区444件、鹿北地区550件、菊鹿地区595件、鹿本地区94件、鹿央地区588件となっている。登録数については、オフトーク通信の利用状況を考慮し、本年度中に3000件を目標としている。



北原昭三 議員



やまがメイト

質問 認知症簡易チェックサイトの導入について

認知症の早期発見とその理解の普及とをあわせ持った認知症簡易チェックサイトの導入についてどのように考えるか。

答弁: (福祉部長) 本人向けと家族向けの2種類があり、現在、全国約70の自治体が導入している。専門医の判断に基づかないため、判定後の適切なケアのあり方など、課題も残されている。

したがって、本市において現時点で導入は予定していないが、導入している自治体における導入の効果や活用手法については、調査・検証をする。

質問 市営住宅の管理等について

- ①上久野団地の水洗化計画の進捗状況はどのようになっているか。
- ②家賃滞納世帯数と滞納額について伺う。

答弁: (建設部長) ①平成27年度において現地調査及び測量を実施し、これまで排水管のルートや経済比較等の検討を行ってきた。今後は、早期に全戸の供用開始を目指す。

②本年10月末現在で、1～2カ月支払いを忘れておられる方や住宅を退去された方を含め、滞納者が474世帯で滞納額は8846万4446円である。今後も引き続き、滞納額の減少に努めていく。

質問 公園管理（瞑想の森公園）について

公園として整備する中で、借地契約を締結するに至った経緯と現在の利用状況について、また、今後の方向性をどのように考えているか伺う。

答弁: (経済部長)

瞑想の森公園は借地契約を締結している中の1カ所で、旧鹿北町が都市・近隣住民との交流やふれあいを目的として設置された公園である。現在、日常的に近隣住民の憩いの場として、幼児から小中学生までの遊び場としても有効に活用されている。今後も公園として継続利用し、まずは、借地料の見直し交渉を続けていく考えである。



瞑想の森（鹿北町岩野）

質問 政教分離の定義について

修復作業が終了した薬師堂で祈禱式が行われ、「さくら湯」開湯記念日の11月23日に秋の温泉祭が始まるが、市が仏堂を所有し祈禱式が行われることは、政教分離に反してはいないか問う。

答弁: (経済部長)

政教分離の定義は、宗教とのかかわり合いを全て禁止するものではなく、信教の自由を保障する目的からみて、相当とされる限度を超えるものだけを禁止するもの。したがって、薬師堂は山鹿温泉の象徴的な存在であり、歴史的価値の高い建造物であること。さらには、「山鹿温泉祭」や「温泉復活感謝祭」で行っている祈禱についても政教分離の定義において、社会的、文化的条件からみて相当とされる限度を超えていないものと考ええる。



富丸洋一郎 議員

質問 鹿央地域のまちづくりについて

昨年4月結成された鹿央地域活性化プロジェクト会議での施策のまとめ及び熊本市への通勤可能地として、鹿央地域を含めた菊池川南側で大胆な住宅施策が必要だと申し上げてきたことはどうなったかを問う。

答弁: (総務部長)

当会議では、今あるものを伸ばし、不足するものを補うことを基本方針として、人の活性化、農業の活性化、施設の活性化の3点を柱に検討した。なお、生活利便性の向上、地域資源を生かした交流人口の拡大等に寄与する事業効果の高いものを厳選し、短期・中期・長期に分類した上で可能なものから実施する予定である。既に、地域おこし協力隊員の配置やかおう里山周辺の再整備に着手した。

住宅団地の整備は、人口政策や経済政策としても効果が期待でき、本市が進める地方創生に寄与するものと思う。しかしながら、当会議でも長期的な施策の1つとして検討した経緯はあるものの、農地転用による大規模な宅地開発までは踏み込んでいない状況である。今後も地元のご意見をお聞きしながら、事業推進を図ってまいりたい。



丸山康昭 議員



永田 紘二 議員

質問 機能別団員のさらなる充実について

- ①機能別団員の現在の状況について
- ②機能別団員の各部への配置について

答弁: (消防長)

- ①平成28年4月現在、定数90人に対し60人が入団している。また、山鹿市消防団としては、団員数の減少が著しい地域において部の統合を推進しており、地域における活動団員数を確保できるとともに、機能別団員が活動団員の一助となると考える。
- ②現在の団員数は2113人であり、条例定数2200人からみても機能別団員140人の配置は可能と考えるが、地域の実情も考慮し適正な配置に心掛ける。今後は、消防団本部と協議しながら基本団員と連携し、よりよい消防活動ができるよう検討していく。

質問 観光客のための駐車場対策について

9月議会で観光客のための駐車場確保の調査費を予算化したが、現在の進捗状況はどうか。



山鹿市役所駐車場

答弁: (経済部長)

現在、「中心市街地賑わいづくりプロジェクト会議」で洗い出された駐車場候補地について、土地所有者などの関係者と協議を行うとともに、順次調査を進めている。

今後、協議・調査結果を踏まえ、適当と思われる候補地を絞り込み、関係者と詳細な協議を行うとともに、駐車場の管理体制や利活用促進対策などの検討も深めていく。

平成28年12月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第 90 号	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 91 号	山鹿市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 92 号	山鹿市税条例及び山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 93 号	山鹿市立学校条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 94 号	山鹿市立保育園条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 95 号	平成28年度山鹿市一般会計補正予算（第5号）	可 決
議案第 96 号	平成28年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第 97 号	平成28年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第 98 号	平成28年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第 99 号	平成28年度山鹿市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第 100号	平成28年度山鹿市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第 101号	平成28年度山鹿市病院事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案第 102号	平成28年度山鹿市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案第 103号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第 104号	財産の譲渡について	可 決
議案第 105号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市蒲生コミュニティーセンター）	可 決
議案第 106号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市鹿央生産物直売所等）	可 決
議案第 107号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市特産工芸村等）	可 決
議案第 108号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市水辺プラザかもと）	可 決
議案第 109号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市道の駅小栗郷等）	可 決
議案第 110号	公の施設の指定管理者の指定について（岳間研修センター）	可 決
議案第 111号	公の施設の指定管理者の指定について（椎持研修センター）	可 決
議案第 112号	公の施設の指定管理者の指定について（幸ヶ丘研修センター）	可 決
議案第 113号	公の施設の指定管理者の指定について （山鹿市農村集落多目的共同利用施設下分田センター）	可 決
議案第 114号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 山鹿市中 中山 俊治 氏（再任）	同 意
議案第 115号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 山鹿市鹿北町 野中 弘樹 氏（再任）	同 意
議案第 116号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 山鹿市鹿央町 佐野木 主税 氏（再任）	同 意
請 願 第 5 号	花見坂（栄太郎横）～もくせい学園入り口間の電線地中化工事を求める請願書	継続審査
意見書案第5号	県立特別支援学校整備計画に基づいた本市の小中学部特別支援学校の設置を求める意見書	可 決
意見書案第6号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可 決
意見書案第7号	地方議会議員の選挙運動期間中のビラの頒布を可能とする公職選挙法改正を求める意見書	可 決

【主な議案】

議案第95号

平成28年度山鹿市一般会計補正
予算（第5号）

約1億9900万円

- ・障害児通所等給付費
利用件数増加

約2100万円

- ・ワイナリー構想推進事業
国の地方創生拠点整備交付金
活用

約8100万円

- ・畜産振興事業
国の畜産・酪農収益力強化
整備事業活用

約9800万円

- ・市内中学校全国大会等出場支援

約430万円

議案第103号

工事請負契約の締結について

- ・山鹿市エネルギー回収型廃棄物
処理施設建設工事

一般競争入札

株式会社 川崎技研（福岡市）

その他

公の施設の指定管理者の指定
について（9施設）

議会の主な動き

10月

- 1日(土) 山鹿市ふれあいピック第12回大会
- 3日(月) 議会運営委員会行政視察(～4日)
- 5日(水) 広報委員会
- 12日(水) 百歳到達者表敬訪問
- 13日(木) 全員協議会
- 15日(土) 第21回消防フェスティバル
- 17日(月) 熊本県市議会議長会正副議長会(～18日)
- 19日(水) 全国市議会議長会研究フォーラム(～20日)
- 22日(土) くまもと子ども芸術祭2016(～23日)
- 23日(日) 鹿央ふるさと祭り
鞠智城の日
- 24日(月) 九州市議会議長会第3回理事会
- 30日(日) 山鹿市芸術文化祭総合開会式
鹿北茶山唄全国大会

11月

- 2日(水) 熊本国際スポーツ大会実行委員会設立総会
- 5日(土) 清浦奎吾伯墓前祭
- 9日(水) 全国温泉所在都市議会議長会役員会(～10日)
- 12日(土) 山鹿市青少年健全育成大会
- 17日(木) 議会運営委員会
- 19日(土) 第37回かほくまつり(～20日)
- 20日(日) 芸術文化祭 湯の町やまが「華の饗宴」
- 22日(火) 自治体病院全国大会「地域医療再生フォーラム」
- 23日(水) 山鹿温泉祭「御幸式」
2016「やまがシルク・セミナー」
- 24日(木) 12月定例会開会
全員協議会
- 25日(金) 石の風ぐるま友好都市交流事業(～27日)
- 27日(日) 山鹿温泉大餅投げ
- 29日(火) 百歳到達者表敬訪問
- 30日(水) 12月定例会質疑・一般質問
広報委員会

12月

- 1日(木) 12月定例会質疑・一般質問・委員会付託
議会運営委員会
- 2日(金) 建設経済常任委員会
- 4日(日) 第12回やまが人権フェスティバル
- 5日(月) 市民福祉常任委員会
- 6日(火) 総務文教常任委員会
- 7日(水) 議会運営委員会
- 9日(金) 12月定例会閉会
- 14日(水) 百歳到達者表敬訪問
- 15日(木) 広報委員会
- 18日(日) 山鹿市駅伝大会
- 20日(火) 山鹿温泉復活感謝祭
- 28日(水) 年末警戒

行政視察

ようこそ山鹿市へ

- 10月20日 高知県四万十町 山鹿小学校の内装木質化の概要と現地視察
- 10月20日 熊本県宇土市 山鹿市民球場の建設に至った経緯及び建設経費について
- 10月25日 東京都立川市 インクルーシブ教育について
- 11月8日 大分県中津市 認知症地域支援体制の構築事業について
- 11月11日 岐阜県多治見市 認知症地域支援体制の構築事業について
- 11月15日 長崎県南島原市 認知症地域支援体制の構築事業について

【議会運営委員会行政視察報告】

平成28年10月3日～4日

■埼玉県飯能市「タブレット導入の取り組みについて」

飯能市議会では、平成24年4月に全国に先駆けてタブレット端末を導入し、情報通信技術活用による議会改革の推進に取り組まれている。

まずはタブレット導入までの歴史的背景を伺い、資料や予算書等のペーパーレス化を目指して導入したとの説明があった。また、導入に対しての予算は、3分の2が公費、6分の1が政務活動費、6分の1が自己負担であった。

今回の視察では、タブレット導入をすることによって、多くのメリットがあること、そして市民への情報公開や、いち早く情報を伝達する上においても、タブレットの導入によるシステム作りは必要ではないかと感じた。



■埼玉県川越市「蔵造りまちづくりについて」

川越市では、歴史的な街並みに感動を覚えた。また、歴代の商店街の方たちの取り組みや、赤色でない緑色の郵便ポスト、曲がる信号機など、まちづくりへのヒントとなり、街並みを保存する上でも非常に参考になった。

編集後記

広報委員 服部 香代



広報委員

「山鹿市議会だより」の発行も12号となりました。平成25年から議員定数30名から20名へと大きな変革があり、その後様々な議会改革に取り組んでまいりました。

「開かれた議会」をテーマに、より市民の皆様にとって身近な議会となるように全議員で議論を重ね、平成28年3月には議会基本条例も策定しております。

- ・市議会だよりの発行
- ・議会報告会の開催
- ・質疑・一般質問のインターネット録画配信
- ・全員協議会の定例化
- ・常任委員会の原則公開(定員12名)

このような取り組みを積極的にに行い、議会の活動を広報し、またそれぞれが地域に出ていくことも大事なことだと捉え活動してきました。

地方創生が進む今、市はや国からの支援を待たずして何事も始めない時代です。市民と議会と行政がそれぞれの役割を果たし本当の意味での「協働」ができるまちづくりを進めなければならぬ非常に重要な時期を迎えています。市民の皆様、山鹿市の希望ある未来のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします！